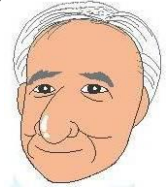


ひろせ 栄の政策綱領Ⅲ（将来ビジョン）

国家戦略特区を活かした：地域の新たな生命いのちを育むまち

産業を育み 人を育む チャレンジから実感できる確かな成果へ



急激に進む人口減少により、何もしなければ、地域には崩れかけた廃屋が点在し、我々の先祖が孜々営々と築き上げ、脈々と守られてきた豊かなまちと、伝統や文化は消滅してしまいます。また、まちと市民生活を維持するための社会インフラ施設等市民一人当たりの負担は益々増大し、そのうち支えきれなくなります。担い手がいなくなり荒廃する農地や山林などにおいても同じことが起きてきます。施策の成果を上げるためには、目標設定と、それを実現するための、高い志・故郷を愛する直向き・涙と血にまみれながら戦い抜く強い決意・諦めない不断の努力、これらの覚悟が必要です。戦略・戦術は目的を明確にし、課題の要因となるものに客観的且つ科学的な分析を加え、解決に向けて明確な方法論を示し、目的・効果的・効率的・計画的に実現することが必要です。さらに、従来から漫然と続く在り来りのものの羅列では無く、新たな思惟・思考のもと、思い切った挑戦が必要であると考えています。将来世代の幸せを考え、そのために『今必要なこと』を行っておく、このような熱い思いを市と市民が共有し参画と協働で一体となり、総合計画・国家戦略特区・創生総合戦略を進める必要があります。子どもたちが帰ってきてくれたときの活躍の場と仕組みを、目の前にある困難を乗り越え、『今』、私たちは作っておかなければなりません。

「8年をふりかえって」

1期目は土づくり、種まきの時、2期目は種の芽吹きを見守り、成長を助ける時。そのようにしてきました。その中で強く感じたことは、養父市の根源的且つ喫緊の課題は「少子化・高齢化」等による「人口減少」と「地域経済の低迷」です。この課題解決に向け「地域の新たな生命を育むまち（産業を育み、人を育む）」を基本方針として市政運営を行ってまいりました。即ち、養父市としての地方創生を訴え行動を取ってきました。その努力が認められ「国家戦略特区（農業特区）」の地区指定へと繋がりました。指定から約2年半、その効果は徐々に出つつありますが、現状は、規制緩和も道半ば（農業生産法人出資比率等、シルバー人材センター会員労働時間、林業関係、ドローン活用等近未来技術実証事業）、中山間地域農業の産業化、工業化のモデルづくり、医療・介護連携ネットワーク、等々を目に見える形にすることが私の役割です。

その為には『設立された農業生産法人の活動が拡大、収益化し、更なる農業生産法人設立が図られること。地域の企業や農家の参入を図ること。効果と利益が地域に還元されること。雇用の場が増えること。これらの効果が養父市創生総合戦略として反映されること。』など、これらの仕組みを作り、起動させなくてはなりません。また、マニフェストの達成度も現状の約70%から、更なる実現を図ることが、私の責任として残されています。そういう強い思いを持っています。

国家戦略特区、養父市地方創生の実現、成功に向けて、しっかりとした仕組みを構築し起動させ、その成果（効果）を生み出し、成果（効果）が市全体の活性化につながる。そのことを行うのが私に与えられた責務であると考えています。

「3期目の市政運営」

3期目を迎えるに当たり、2期目に引き続き、市が抱える最も根源的で緊急を要する課題が「人口減少問題」と「地域の経済力の問題」である点に鑑みて、この2つを最も重点的で基本的な政策と位置づけ、その解決と実現のため、国家戦略特区を活かした「地域の新たな生命いのちを育むまち：産業を育み 人を育む」を私の信念としての方針と定め、これを実現させるための基本政策を大きく2つに纏めることとしました。

一つ目は、「住んでみたい、住んでよかったと思えるまちづくり」

二つ目は、「市民と一緒に作るまちづくり」

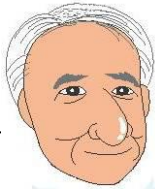
私、ひろせ栄は、国家戦略特区を活かした「地域の新たな生命いのちを育むまち：産業を育み 人を育む」を目指すべき方向性と定め、養父市が抱える人口問題の克服と、地域の経済活性化を、市民の皆様との協働のもとに達成し、固い絆に結ばれた（結いの心による）コミュニティづくりを進め、互いが思いやり、支え合い、助け合い、笑顔と元気あふれる自立した養父市のまちづくりをこれからも力強く継続して、祖先から引き継いだ、この美しい自然・文化・歴史の魅力に満ちた誇りある養父市を将来にわたり守り、継承してゆく覚悟です。

ひろせ栄の政策方針

信頼と安定さらなる挑戦

市民総活躍と仕事の創出

基本政策



1. 住んでみたい、住んでよかったと思えるまちづくり

総合計画・国家戦略特区・創生総合戦略を進め、但馬の玄関口と位置づけ、養父市固有の自然や伝統文化や歴史的文化的遺産などの資源に磨きをかけ、魅力の増大をはかるとともに、若者定住を中心に、雇用、住宅、子育て、教育、医療、福祉、快適環境、利便性などに対する施策が必要であり、また、道路などの社会資本整備やもてなしの心を表すなど、それぞれ多岐で多様な施策の有機的で重層的な展開、総合的施策展開を総合計画の基に図り、但馬2市2町等と連携しながら養父市の魅力を醸成し、流入人口を増やし但馬各地等を巻き込んだ養父市の活性化を促したいと考えています。

具体的施策群

- ① 国家戦略特区を活かした新しい事業の創出と既存企業の支援（スマートアグリ、中小企業支援）
地元企業が参入しやすい入札制度の検討
- ② 防災・減災（避難計画・避難所の継続的検証）
- ③ 農福連携（農業の特性を活かした福祉分野への展開）
- ④ インフラの長寿命化計画・維持・管理：公共施設、道路、橋梁、上下水道、簡易水道
- ⑤ 広域的連携：地域医療の確保・役割分担、専門職人材育成大学の設立
- ⑥ 子どもの笑い声があふれるまちづくり：医師確保（八鹿病院、診療所）、給付型奨学金の充実・継続
- ⑦ 親づくり（子どもに将来養父市に帰って来いよと言える親）
- ⑧ 小中学校の特色化、魅力化の促進、教育の充実、（図書館の検討、土曜日の有効活用）
- ⑨ にぎわいスポットづくり（若者スポット、高齢者スポット等の設置支援）
- ⑩ 養父市固有の自然・文化・歴史・遺産・人的財産を活かした地域づくり（有機の学校）



2. 市民と一緒につくるまちづくり

公民の協働を進める前提として、情報公開・共有、お互いの自主・自立が重要です。魅力あるまちづくりの「人づくり」を通して将来の人財を育て、まちづくり基本条例、市民憲章、第2次総合計画養父市創生総合戦略の基本理念に基づき、真の協働によりまちづくりを実現します。

具体的施策群

- ① 市民提案事業の推進（市民の創意工夫を活かしたまちの運営）
- ② 地域自治組織の充実
- ③ 予算編成に市民の声を活かす施策の展開
- ④ 空き家対策事業の推進
- ⑤ 市民一人ひとりの居場所づくり（しごと・保育・介護をつなぐ）女性・男性・こども・若者・高齢者・障がい者・外国出身者等すべての市民が輝く（シェアリングエコノミーの実施）
- ⑥ やぶし愛・やぶらぶ文化の醸成による市民の一体化を図る：現代版青蹊書院の復活、伝統・文化・芸能の伝承

単位施策

柱	NO.	市長重点事業	達成期限	指標(内容)	単位	最終目標値
	2	河川改修、砂防、治山事業の一層の促進	平成32年度 (任期中)	危険箇所の解消数	箇所	5
	144	区毎の避難マニュアルの策定	平成29年度	策定	地区	153
	145	避難所の継続的見直し	平成32年度 (任期中)	策定	%	100
	146	防災サイレン等施設の維持・管理	平成29年度	実施	2箇所	完了
	25	緩和ケア病棟の充実	平成32年度 (任期中)	緩和ケア病棟の病床(20床)利用率	%	80
	26	総合的施設(病院・老健施設・訪問看護センター・看護学校)	平成32年度 (任期中)	健康タウン構想の具体計画策定	—	策定
	27	医師不足の解消(最多時は53名、現在は40名)	平成32年度 (任期中)	確保する医師の数	人数	2
	29	お年寄り健康相談の充実(「ことぶき110番の設置」)	平成32年度 (任期中)	巡回介護予防教室参加者数	人/年	2,500
	30	安心、健康、生きがい	平成32年度 (任期中)	ことぶき110番の設置	—	設置
	31	メタボリックシンドロームに着目した保健指導	平成32年度 (任期中)	健康づくり条例策定	%	80
	32	障害者等社会的弱者支援の充実	平成32年度 (任期中)	地域福祉マップ作成	%	70
	147	福祉無料職業紹介〈アグウェルやぶ〉	平成32年度 (任期中)	就労の件数	件/年	2
	34	在宅介護の充実→ホームヘルパー増員、待遇改善のためのシステム(仕組み)づくり	平成32年度 (任期中)	介護予防サポーターの養成数	人	500
	35	既存企業、地元企業の支援	平成32年度 (任期中)	市が行っている企業支援の件数	件	30
	36	経営革新・改善等への支援	平成32年度 (任期中)	企業等振興奨励金事業の奨励措置件数	件/年	55
	37	企業支援センターの充実	平成32年度 (任期中)	企業支援センターが開催する講座等の一般公開	講座	2
	38	養父市商工会、経済団体等との連携強化	平成32年度 (任期中)	共催事業数	事業/年	10
	39	支援施策の充実(振興補助金、融資制度等の充実や新たな施策)	平成32年度 (任期中)	市が行っている企業支援の件数	件	30

40	企業誘致	平成32年度 (任期中)	誘致企業の数	企業	2
41	企業誘致用地の確保(工場団地の形成)、空き校舎の利活用	平成32年度 (任期中)	誘致企業の数	企業	2
42	起業の支援	平成32年度 (任期中)	新規起業件数	件	5
43	鳥獣対策	平成32年度 (任期中)	農作物被害額	千円/年	13,000
44	地産地消の推進	平成32年度 (任期中)	学校給食での養父市産品使用割合	%	40
45	安全安心な地元農産物の生産と消費(地産地消)	平成32年度 (任期中)	地元農産物の販売額	千円/年	172,000
46	多様な食料生産を進める(稲、麦、大豆、野菜等)	平成32年度 (任期中)	ピーマンの栽培規模	本/年	9,900
47	無農薬有機栽培(資源循環型農業)を進める	平成32年度 (任期中)	有機農産物の生産行程管理者	圃場数	100
48	耕作放棄地・荒廃農地対策を進める	平成32年度 (任期中)	耕作放棄地、荒廃農地面積	ha/延	10
49	地域による農業施設の適正な維持管理の仕組みづくりを行う	平成32年度 (任期中)	適正な管理が出来ている農業用水路のカバー率	%	100
50	企業による農業生産への参加を勧める	平成32年度 (任期中)	参入企業の数	社/延	3
51	畜産振興を行う	平成32年度 (任期中)	但馬牛の増加頭数	頭/延	750
52	但馬牛の増頭を計画的に進める	平成32年度 (任期中)	但馬牛の増加頭数	頭/延	750
53	八鹿豚のブランド化をはかる	平成32年度 (任期中)	八鹿豚の飼育頭数	頭/延	3,300
54	蛇紋岩米等地域の特色ある農産物の特産化をはかる(多品目少量生産)	平成32年度 (任期中)	参入企業の数	ha/年	24
55	多様な加工食品、郷土食の提供と特産化をはかる(多品目少量生産)	平成32年度 (任期中)	兵庫認証食品数	品目/延	7
56	森林組合との連携	平成32年度 (任期中)	森林組合との連携会議の開催回数	回	3
57	森林の適正管理	平成32年度 (任期中)	林業の従事者数	人	20
58	良質木材の生産	平成32年度 (任期中)	木材の出荷量	立米	毎年度5%増量
60	スポーツ施設の建設、誘致	平成32年度 (任期中)	関宮地域・高原エリアに陸上公認コースの整備	有無	有

61	市内観光資源のネットワークづくり	平成32年度 (任期中)	新たに作るモデルコースの数	コース	3
62	更に広域化した但馬におけるネットワークづくり	平成32年度 (任期中)	新たに作る広域モデルコースの数	コース	2
63	氷ノ山の利活用	平成32年度 (任期中)	氷ノ山案内人を利用した入山者数	人/年	300
64	産業クラスターの形成	平成32年度 (任期中)	産業クラスターの形成件数	件	1
65	農業生産者→商工業者→鉢伏等の観光産業	平成32年度 (任期中)	産業クラスターの形成件数	件	1
66	情報通信設備(CATV)を生かした起業など新たな展開を進める	平成32年度 (任期中)	元気企業の紹介番組の数	本	6
67	雇用の場の確保	平成32年度 (任期中)	市の取り組みで確保する雇用者の数	人	50
68	コミュニティービジネス(ソーシャルビジネス)の創造	平成32年度 (任期中)	新規起業数	件	1
69	定住促進条例の制定	平成32年度 (任期中)	制定	—	制定
70	豊かな自然と、それに育まれた人々の暮らしと文化を守る	平成32年度 (任期中)	地域性を活かした事業メニュー数	件/年	5
71	地域性を生かした個性ある地域づくり	平成32年度 (任期中)	地域性を活かした事業メニュー数	件/年	5
72	特区制度の活用	平成32年度 (任期中)	特区数	箇所	1
73	地域間交流、ツーリズム、都市との交流、郷土出身者との交流	平成32年度 (任期中)	観光大使任命数	人/延	10
74	空き民家利用で体験農村生活の実施	平成32年度 (任期中)	メニューの創設と体験モニターの実施	件	1
75	都市の児童、生徒の宿泊体験の誘致で交流と観光	平成32年度 (任期中)	交流人口数・交流団体(学校)数	人数・件数	既存×10%
76	Uターン、Iターン、Jターンの促進	平成32年度 (任期中)	累積U・I・Jターン者数	人/年	30
77	団塊世代の取り込み(住宅施策含め)	平成32年度 (任期中)	団塊の世代ニーズアンケートの実施	—	実施
78	鳥獣害対策、地域課題の解決、地域振興等各種大学との交流、インターンシップ	平成32年度 (任期中)	交流大学数・教員数・プロジェクト数	人(校)	現状+5%
79	心豊かな人づくり、生きる力を育む	平成32年度 (任期中)	不登校児童・生徒数	人	0
81	学校教育の充実	平成32年度 (任期中)	基本的な生活習慣を身に付けている子どもの割合	%	95

85	人権、差別、格差社会の是正教育	平成32年度 (任期中)	学習機会への参加者数 人権講演会の開催回数	回	4
89	保育サービスの充実	平成32年度 (任期中)	市立こども園利用者の満足度	%	70
91	放課後児童対策の充実(地域、学童保育、学校)	平成32年度 (任期中)	放課後クラブ等のニーズに対するカバー率	%	100
94	児童への虐待対策の強化	平成32年度 (任期中)	虐待相談件数 子育てが楽しいと感じる親の割合	%	70
95	地域環境の整備	平成32年度 (任期中)	子育てについて地域で支えあう雰囲気があると思う人の割合	%	50
96	企業との子育て支援協定締結	平成32年度 (任期中)	制度の創設	創設の有無	有
97	人と地域が輝く生涯学習による活力源づくり	平成32年度 (任期中)	公民館活動への参加人数	人数	20歳以上の人口
98	市立図書館機能の確立	平成32年度 (任期中)	市民1人あたり図書貸し出し冊数	冊	6
99	公共交通機関の確保(交通弱者の足の確保)	平成32年度 (任期中)	高齢者に対するバスの補助の創設	創設の有無	有
100	買い物、通院、ゴミ出しなど日常生活の支援の仕組みづくり	平成32年度 (任期中)	協議会の設置数	団体	18
102	独居老人を主とした集落内の一声運動を進める	平成32年度 (任期中)	一声運動強化月間(9月、敬老)の創設	創設の有無	有
103	「まちの保健室」を活用した在宅介護サービス体制	平成32年度 (任期中)	「まちの保健室」の開催	回数	6
104	多言語表示の案内板の設置	平成32年度 (任期中)	ユニバーサル社会づくりモデル地区での社会実験の実施	実施の有無	有
105	市民、企業研修として「障害のある方の一声運動」出前講座の実施	平成32年度 (任期中)	メニューの創設と出前講座に加える	創設の有無	有
106	公益施設へのバリアフリー助成	平成32年度 (任期中)	バリアフリー化した施設の箇所数	箇所/年	3
107	幹線道路の整備促進	平成32年度 (任期中)	整備率	%	100
109	合併支援道路の整備促進(県道バイパス整備)	平成32年度 (任期中)	予定事業(3箇所)の着工	箇所	100
110	生活道路の計画的整備	平成32年度 (任期中)	毎年度1箇所以上整備	箇所	1
112	ゴミの減量化、資源ゴミの回収と再利用	平成32年度 (任期中)	資源ゴミの回収に取り組んでいる行政区の数	%	100
113	排出ガス(二酸化炭素)対策への取り組み	平成32年度 (任期中)	充電ステーション等のインフラ整備	設置箇所	2

114	省エネルギーへの取り組み	平成32年度 (任期中)	環境カレンダーの普及率	%	5
115	バイオマスタウン構想への取り組み	平成32年度 (任期中)	構想の策定	策定	有
116	自然エネルギー(太陽光、風力、地熱等)活用への取り組み	平成32年度 (任期中)	公共施設における太陽光発電設備設置	kw/年	10
117	広葉樹林の保護・育成	平成32年度 (任期中)	森林保全に関する取り組みへの参加者数(寄附等も含む)	人数	10,000
118	森林整備と適切な管理がなされた里山の見直しと保全	平成32年度 (任期中)	森林保全に関する取り組みへの参加者数(寄附等も含む)	人数	10,000
119	森林資源の見直し	平成32年度 (任期中)	森林整備計画の策定	策定	有
120	生命の源泉としての水環境の保全と維持	平成32年度 (任期中)	森林整備計画の策定	策定	有
5	地域自治協議会の設置	平成32年度 (任期中)	協議会の設置数	団体	18
7	地域住民による地区計画の策定支援・計画実現への支援	平成32年度 (任期中)	支援計画の策定の有無	—	策定
8	情報の収集と提供、適切な情報公開	平成32年度 (任期中)	支援計画の策定の有無	—	策定
9	地域局を地域づくりの拠点とする	平成32年度 (任期中)	地域局に設置する集落支援員駐在所の設置箇所数	箇所	4
10	待つのではなく地域に入る	平成32年度 (任期中)	地域担当チームが地域に入った回数、のべ参加人数	人	100
12	地域間交流による活力の創造	平成32年度 (任期中)	新規交流件数	件数	4
13	NPO法人設立支援	平成32年度 (任期中)	NPO法人格取得団体数	法人	15
14	集落支援員の設置	平成32年度 (任期中)	地域局に設置する集落支援員駐在所の設置箇所数	箇所	4
15	審議会・委員会等への参画率の数値目標30%を目指す	平成32年度 (任期中)	市の審議会等への女性の参画率	%	30
16	市政ご意見番の設置	平成32年度 (任期中)	市政ご意見番(市民アドバイザー)の設置人数	人数	8
17	市長支持率の定期的調査	平成32年度 (任期中)	年間の調査・公表回数	回数	2
124	主要事業計画の見直し	平成32年度 (任期中)	大規模評価委員会の開催	回数	2
2	125 事務事業の更なる評価(PDCAサイクル:計画⇒実行⇒評価⇒改善)	平成32年度 (任期中)	行政評価の体系化・条例化	条例化	有

127	新しい行政運営システムの導入	平成32年度 (任期中)	内部監査機能の創設	創設	有
129	顧客(市民)中心主義による市民満足度の向上	平成32年度 (任期中)	市民満足度アンケートの実施	実施	有
130	機能の統廃合、民間へのアウトソーシング・遊休資産の有効活用	平成32年度 (任期中)	遊休資産の累計売却額	金額	2億円
131	市民のための市役所づくり	平成32年度 (任期中)	窓口アンケートで「よい」「普通」の割合	%	90
132	躍動感あふれる、活気に満ちた市役所づくり	平成32年度 (任期中)	庁内公募研修への応募者の人数	人/年	1,000
134	バランス感覚に富んだ、迅速で、熱意と意欲ある職員の養成	平成32年度 (任期中)	人事評価制度の導入	-	導入
135	職員の意識改革をはかる	平成32年度 (任期中)	職員からの新規取り組み提案	件数	20
136	1%の可能性を追い求める熱意(職員の意識改革をはかる)	平成32年度 (任期中)	チャレンジ目標設定件数	件/年	30
137	職員の民間企業での研修(トライやる)	平成32年度 (任期中)	企業へ研修派遣する職員数	人	4
138	活力ある市行政組織(マネジメントシステムの構築)	平成32年度 (任期中)	市政の進行管理を行う、市長直轄の独立組織の創設	設置	有
141	甘い見通しをあらためる	平成32年度 (任期中)	実質公債費比率	%	18以下
143	現地解決型としての取り組みを進める	平成32年度 (任期中)	地域局に設置する集落支援員駐在所の設置箇所数	箇所	4